

## 区自治協議会提案事業 事業評価書

### 西蒲区自治協議会(まちづくり・産業部会)

区 分	内 容
テーマ・事業名	にぎわいと活力があふれるまちづくり 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	<p>○にしかん応援隊(ボランティア制度)</p> <p><b>【地域課題】</b> イベント等における担い手不足、地域間交流の不足</p> <p><b>【目的】</b> 持続可能な地域となるためには、担い手の確保と、地域の宝や豊かさ(イベントなど)をPRして他の地域に知ってもらい、地域間交流を行っていくことが大切。</p> <p>各地域で行われているイベントへの参加や協力を通じて、様々な地域への理解と交流を深められる仕組みづくりとして「にしかん応援隊(ボランティア制度)」を創設し、これを一つのツールとして地域に活用を促すことで「人が行き交い、にぎわいと活力があふれるまち」を目指す。</p> <p><b>【概要】</b> コミュニティ協議会や商工会、観光協会などが行う地域のイベントにおいて「にしかん応援隊(ボランティア制度)」を活用することができ、市民をスタッフとして募集できる。地域の人との交流や関係づくりから始まる将来的な担い手の発掘や、地域のイベントのPRとしても活用できる。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>○「にしかん応援隊」 ＜制度概要＞ コミュニティ協議会などから「応援隊募集シート」を提出してもらうことで、募集情報を西蒲区役所公式インスタグラムや「にしかん応援隊」LINE公式アカウント、市のホームページに掲載することにより、地域のイベントをお手伝いしたい人(応援隊)と、人手不足で困っている地域団体(受入団体)とをマッチングさせる。</p> <p>＜対象＞ 【応援隊】地域内外のイベントに関わってみたい人、お手伝いしたい人(市民) 【受入団体】地域のイベントで人手不足で困っている団体(コミュニティ協議会等の地域団体)</p> <p>＜実績＞ ・14イベントにおいて制度を活用いただき、延べ35人が参加した。 ・アンケートからは「地域の人と交流ができてよかった」「これまで行ったことがなかった地域のイベントを知ることができ、行くきっかけとなった」「イベントの運営側として関わることができ、地域をより深く知ることができた」などの意見があった。 ・募集团体側からは、「人手不足で困っていたので助かった」「応援隊がいることで、スタッフの士気が上がった」といった好意的な意見の他、「初めてだったため応援隊をうまく活用できなかった」「通常よりも気をつかうなど、負担が増えた」などの意見もあった。</p>

	<p>○「コミ協応援隊伴走支援チーム」  &lt;概要&gt;  応援隊制度の更なる活用に向けて、部会委員で伴走支援チームを結成し、3チームに分かれて募集シートの書き方など、各地域のコミュニティ協議会を支援した。  ※10月～12月にイベントを実施予定のコミュニティ協議会を対象に実施。</p> <p>&lt;支援内容&gt;  ・これまでのノウハウを提供し、募集シートの書き方、周知の仕方、応援隊の活用の仕方などについて一緒に考えた。</p> <p>○「にしかん応援隊活用セミナー」  &lt;概要&gt;  当部会がこれまで得た知見などを地域（コミ協など）へ還元し、応援隊制度の必要性を理解してもらい、応援隊制度の活用を促すとともに、持続可能な地域の体制づくりに向けて地域のマインドチェンジを促す。</p> <p>■日時:令和8年2月25日(水)午前10時～10時30分  ■会場:巻地区公民館 3階 小ホール  ■対象者:コミュニティ協議会、商工会、観光協会など  ■参加者:24名  ■参加者理解度:77%(アンケートより)</p>
<p>事業の評価</p> <p>地域課題の抽出方法や企画立案の評価  事業の公益性・実効性・効率性の評価など</p>	<p>&lt;成果&gt;  ・参加者が応援隊をきっかけとして、地域を知るきっかけとなった。  ・運営側は応援隊の募集を通じて、地域のイベントのPRにつながった。  ・コミ協などに対して今一度応援隊制度の必要性について理解をいただき、それぞれが持続可能な地域の体制づくりについて考えるきっかけを作ることができた。</p> <p>&lt;課題&gt;  ・徐々に制度は浸透してきているが、まだPR不足。  ⇒今年度検討したデザイン案を基に、次年度はポスターとリーフレットを作成して更なる活用に向けた周知を行う。  ・応援隊はイベントの主力ではなく、あくまで補助要員。また、応募者と募集側がお互い負担にならない業務内容となるとよい。そういった制度内容の更なる周知が必要。  ⇒年1回セミナーを開催してもいいのでは。また、対象事業の線引きなど改めて整理を行う。  ・応援隊制度の仕組みづくりをしっかりと行い、自治協議会提案事業として終了した後も行政や他の団体などに引き継げるようにしていきたい。</p>
<p>備考</p>	